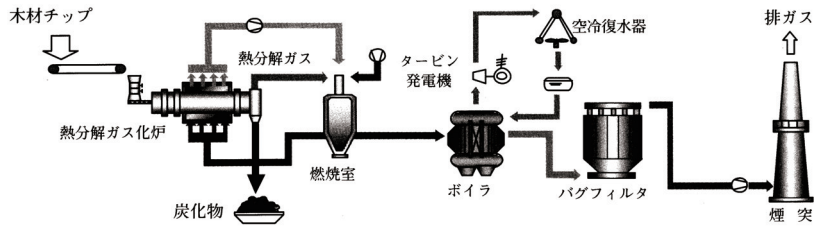


技術情報シート

1. 技術の名称	バイオマスの間接加熱式ガス化発電システム
2. 技術の内容	バイオマス(下水汚泥、木材チップ等)を間接加熱式ロータリーキルンでガス化を行い、高効率発電及び、炭化物の利活用を図る
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】バイオマスのガス化・炭化により高効率発電と炭化物(チャー)の利活用を図る 【技術の特長】リフト付超合金製の間接加熱ロータリーキルン(熱源が熱分解ガスの燃焼炉高温排ガス)でガス化・炭化を行う。外熱式キルンとダウンドラフト式高温燃焼炉に特徴がある。炭化物は固形燃料、還元剤、吸着剤、土壌改良剤に利用できる  図 間接加熱式ガス化発電システム基本フロー 【実績】三重中央開発(株) 96t/d、前田道路(株) 95t/d(木材チップ) バイオ燃料(株)(東京都東部スラッジプラント) 100t/d×3系列(下水汚泥) 【価格又はその問い合わせ先】 下記7. 問合先窓口・担当者をご参照下さい。
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、有害廃棄物処理、リサイクル
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、ペットボトル、発泡スチロール、食品・生ごみ、建設廃棄物、廃タイヤ、廃油
③提供役務	プラント建設、機械・機器販売、廃棄物処理サービス
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	欧州、アジア
6. 検索キーワード	バイオマス、ガス化、ロータリーキルン、炭化
7. 問合先窓口・担当者	三菱重工環境・化学エンジニアリング 株式会社 プラント営業部 海外プラント営業グループ 電話:045-227-1273 URL:http://www.mhiec.co.jp/index.html